

定の養育経験がある母親が、動き・表情・まなざし・息づかいなどの変化を総合的に判断して、一致した見解が得られたならば、それは真実とするのが妥当だと私は考えます。

以上のことは、そのまま重症心身障害児(者)の表出の評価法につながります。一定以上の緊密さで生活を共有した人(職員)の緊張感を持った観察のみが、その重症心身障害児(者)の表出を検出しようと考えます。その妥当性は、複数人の評価の一致率の高さ、その評価に基づいて新しい働きかけをしたら予想通りの結果を得たことにより裏付けられるべきでしょう。

### はじめまして

事務長 藤田 敦

はじめまして、三月一日付けで着任した藤田です。よろしくお願いたします。

私は、薬剤部五年、システム(情報処理関係)部門一七年、企画部門一年半と、主にシステム畑を歩んでまいりました。ご利用者のみなさんやご家族のみなさんには「機械ばかり触ってきた人のようだけれど大丈夫か?」とご心配さ

れる方もいらっしゃると思います。システム構築では、重要なことが二つあります。一つは限られた環境の中で、いかに最大限の効果を上げるかです。そして、もうひとつは対話を重ねることです。この二つは、すべての業務・すべての事業に通じていると思います。事業内容や制度の知識の習得がこれからの私の大きな課題となりますが、皆様のご指導を受けながら、努力してまいります。

### 新入職員挨拶

今年の四月一日より、新たに看護師二名と介護職九名の職員が聖隷おおぞら療育センターで勤務することになりました。代表して二人からの挨拶を掲載します。

#### 鳥居 祥子

私は大学時代に福祉を勉強し、今年の三月まで教員関係の大学院で障害児教育について学んでいました。聖隷おおぞら療育センターに勤務できるといふ期待がありました。が、近年の福祉現場がどのようになっているのかといったこと

が分からないという不安もありました。

この四月から勤務し、先輩職員の意識の高さを実感しました。はじめは右も左も分からないことが多いため覚えることがたくさんあります。先輩職員から「利用者の方がなぜこういう行動をするのか」といった「なぜ?」という疑問を持ちながら過ごすというのではなにかということを感じていただきました。私はこの一ヶ月を振り返ってみると、覚えることだけに必死になりすぎていた気がします。

そして、利用者の方と接してみても感じたことは自分自身の持っている知識・技術では出来ないことがたくさんあるということ。まだまだ未熟ですが、利用者一人ひとりの特徴をとらえその人にあった対応ができるよう努力していきたいと思えます。

(だいち児童指導員)

#### 吉野 真理

四月から聖隷おおぞら療育センターで働く事になりました。

幼い頃からの夢である職業に就けた事、希望していた領域で働ける事を嬉しく思うと

同時に、社会人として・看護師として責任を感じています。

私は学生時代に、さまざまな領域で実習をしていく中で、病気や障害を持った方が、その病気や障害と付き合いながら生活を送る上で、どのような看護ができるのだろうか、ということに興味を持ちました。その中でも、重症心身障害児者看護に関心があり、実習でおおぞらに来た際に、職員が一人一人の利用者の方とじっくり関わっている様子や、その人らしい生活が送れるように、その方に合ったケアや活動をしたり、環境を整えたりしている様子に魅力を感じて就職を決めました。

実際に働きはじめて数日経ちますが、まだまだわからない事が多かったり、一つ一つのケアに時間がかかってしまったりしています。知識・技術・経験共にまだまだ未熟で、利用者の方や先輩方に迷惑をかけてしまっていると思います。常に相手の気持ちをくみ取って行動する事・安全で心地良い生活が送れるように援助する事をモットーに、はやく一人前の看護師として働けるように努力し成長していけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。(こだま看護師)

## お知らせ フェスタ おおぞら

開催予定  
平成21年9月13日(日)  
13時~15時

例年のように、フリーマーケット・バザー・模擬店・太鼓やオルガンコンサート等イベントを行う予定です。お手伝いいただき、ボランティアを募集いたしますので、詳しくは次号に掲載いたしますのでお楽しみに!

フェスタおおぞら実行委員会

